

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新型インフルエンザ対策救急事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	01	09	51
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	消防防災課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	救急業務を行う消防職員	意図	救急隊員の救急搬送時の新型インフルエンザ等感染症からの感染防止及び消防業務を維持するための感染対策の維持。
事業内容	新型インフルエンザ感染者の搬送時において、消防職員の感染を防ぐための医療材料及び感染防護衣等の購入並びに維持管理をする。			
事業開始から現在までの状況変化	新型インフルエンザ感染者の搬送時において、消防職員の感染を防ぐための医療材料及び感染防護衣等の購入並びに維持管理をする。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	新型インフルエンザ対策消耗品購入	100	100	100	%	→→	購入数/56日間の対策必要数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 強毒性の新型インフルエンザが発生した場合でも、56日間分の資機材が確保されているため、その間の消防業務の継続が可能である。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,272,642	2,912,675	2,876,269				
事業費(b)(円)		899,642	899,075	898,669				
うち一般財源		899,642	899,075	898,669				
職員給与費(c)(円)		1,373,000	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.20	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	医薬材料の使用期限を踏まえた効率的な維持管理計画。	③取組における課題(Check)	医薬材料及び感染防護衣等の定期的な購入が必要となる。
②H30に実施した取組(Do)	新型インフルエンザの発生に蓄え、医薬材料の使用期限を踏まえ、効率的な整備計画を立て購入を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	新型インフルエンザが発生した時に流行が長期化する可能性もあることから医薬材料の定期的購入及び感染防護衣等の備蓄量の確保に努める。